

## 【 檜原村 】 胃がん検診 平成25年度プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく胃がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（胃部X線検査）	している

### <住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	930	975	1,905
【東京都調査による対象者率(市町村部): 57.8%】			
実際の受診者数	133	118	251

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	18～39歳
左記以外の検査の実施	していない

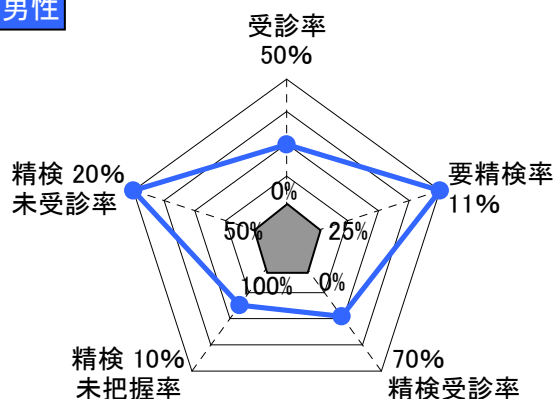
### <区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

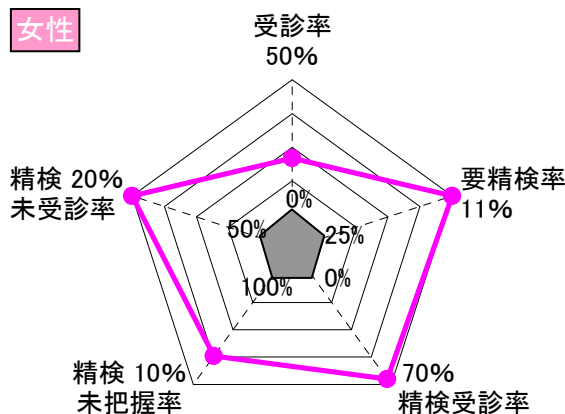
### <がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	24.7%	20.9%	22.8%
要精検率	11%以下	4.5%	2.5%	3.6%
精検受診率	70%以上	33.3%	66.7%	44.4%
精検未把握率	10%以下	66.7%	33.3%	55.6%
精検未受診率	20%以下	0.0%	0.0%	0.0%
陽性反応適中度	1.0%以上	0.0%	0.0%	0.0%
がん発見率	0.11%以上	0.00%	0.00%	0.00%

#### 男性



#### 女性



### 【評価結果】

#### <受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

#### <精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

#### <精検未把握率>

精検未把握率が非常に高く、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、精密検査結果の把握方法を検討してください。

## 【 檜原村 】 肺がん検診 平成25年度プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく肺がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（胸部X線検査及び喀痰細胞診）	している

### <住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	930	975	1,905
【東京都調査による対象者率(市町村部): 64.5%】			
実際の受診者数	153	129	282

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	18～39歳
左記以外の検査の実施	していない

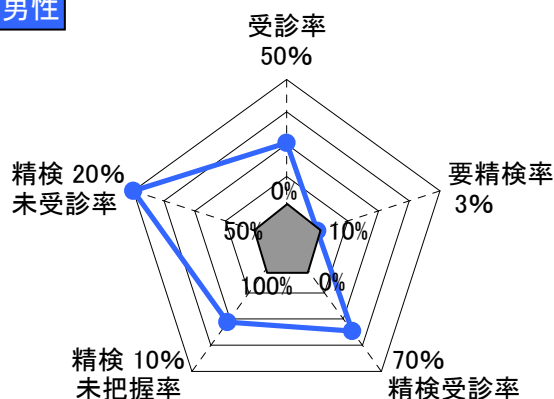
### <区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

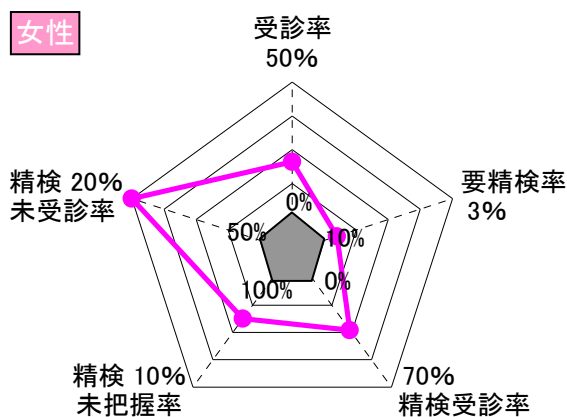
### <がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	25.5%	20.5%	22.9%
要精検率	3%以下	13.7%	9.3%	11.7%
精検受診率	70%以上	42.9%	33.3%	39.4%
精検未把握率	10%以下	52.4%	66.7%	57.6%
精検未受診率	20%以下	4.8%	0.0%	3.0%
陽性反応適中度	1.3%以上	0.0%	0.0%	0.0%
がん発見率	0.03%以上	0.00%	0.00%	0.00%

#### 男性



#### 女性



### 【評価結果】

#### <受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

#### <要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

#### <精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

#### <精検未把握率>

精検結果が把握されておらず、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、早急に精密検査結果を把握できる体制を検討してください。

## 【 檜原村 】 大腸がん検診 平成25年度プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（便潜血検査(二日法)）	している

### <住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	930	975	1,905
【東京都調査による対象者率(市町村部): 62.0%】			
実際の受診者数	154	133	287

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	18～39歳
左記以外の検査の実施	していない

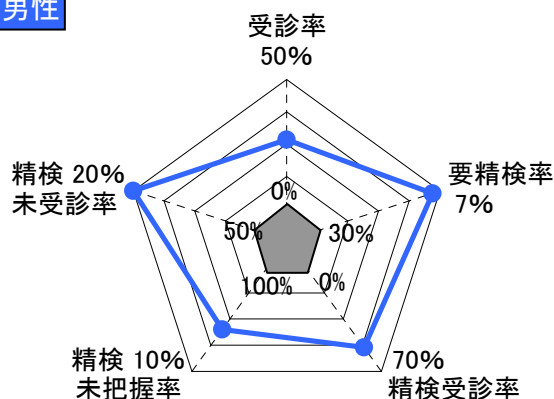
### <区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

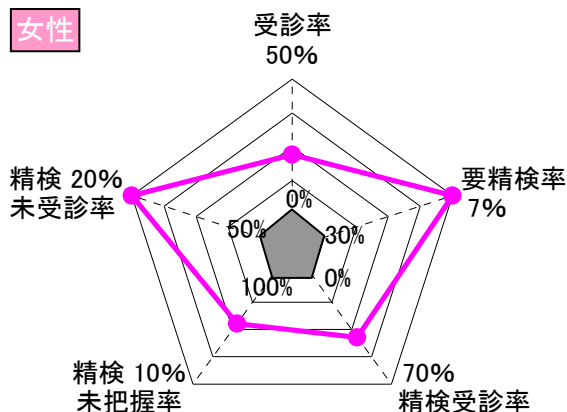
### <がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	26.7%	22.0%	24.3%
要精検率	7%以下	8.4%	3.8%	6.3%
精検受診率	70%以上	53.8%	40.0%	50.0%
精検未把握率	10%以下	46.2%	60.0%	50.0%
精検未受診率	20%以下	0.0%	0.0%	0.0%
陽性反応適中度	1.9%以上	0.0%	0.0%	0.0%
がん発見率	0.13%以上	0.00%	0.00%	0.00%

#### 男性



#### 女性



### 【評価結果】

#### <受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

#### <要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

#### <精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

#### <精検未把握率>

精検未把握率が非常に高く、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、精密検査結果の把握方法を検討してください。

## 【 檜原村 】 子宮頸がん検診 平成25年度プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況>

対象年齢（20歳以上：隔年）	毎年
検査方法（細胞診）	している

### <住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		1,133	
【東京都調査による対象者率(市町村部)：67.1%】			
実際の受診者数		132	

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	間隔について毎年実施
左記以外の検査の実施	していない

### <区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

### <がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		27.9%	
要精検率	1.4%以下		3.8%	
精検受診率	70%以上		80.0%	
精検未把握率	10%以下		20.0%	
精検未受診率	20%以下		0.0%	
陽性反応適中度	4.0%以上		40.0%	
がん発見率	0.05%以上		1.52%	

### 【評価結果】

#### <受診率>

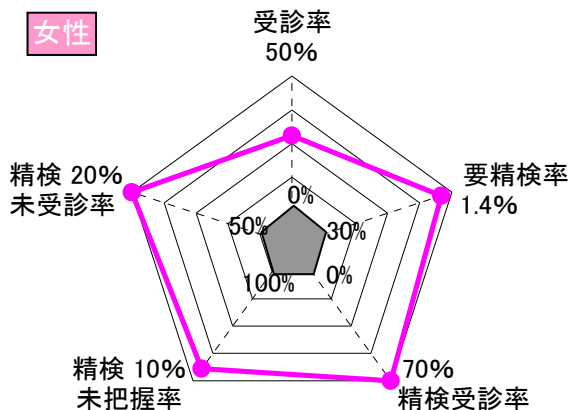
『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

#### <要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

#### <精検未把握率>

高めの精検未把握率です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握が必要です。



## 【 檜原村 】 乳がん検診 プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく乳がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上：隔年）	毎年
検査方法（視触診及びマンモグラフィ）	している

### <住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		975	
【東京都調査による対象者率（市町村部）：73.1%】			
実際の受診者数		124	

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	20～39歳、毎年
左記以外の検査の実施	超音波検査（上記年齢対象）

### <区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

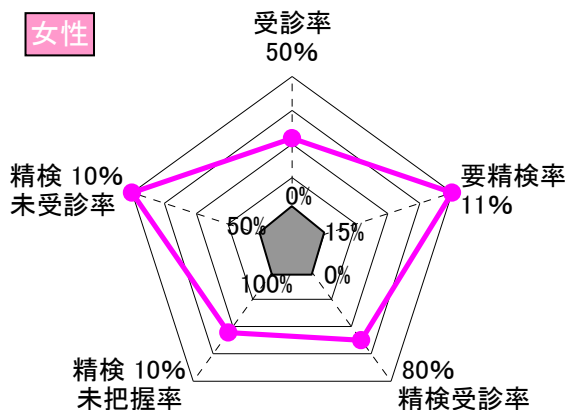
### <がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

	あるべき値 （許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		27.1%	
要精検率	11%以下		4.8%	
精検受診率	80%以上		50.0%	
精検未把握率	10%以下		50.0%	
精検未受診率	10%以下		0.0%	
陽性反応適中度	2.5%以上		0.0%	
がん発見率	0.23%以上		0.00%	

### 【評価結果】

#### <受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。



#### <精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

#### <精検未把握率>

精検結果が把握されておらず、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、早急に精密検査結果を把握できる体制を検討してください。